



# 高森町の社会保障費の課題

健康推進課 国民健康保険係 ☎62-2910 (直通)

## 国保医療費 令和元年度 7億8千万円

うち予防可能な生活習慣病にかかる費用は

疾病	糖尿病	高血圧	慢性腎臓病
医療費	4,200万円	3,200万円	5,044万円
治療中	245人	643人	治療状況： KDB疾病情報データより

▶ 合計すると

**1億2,400万円**  
国保医療費の約2割!



糖尿病があると  
認知症になる可能性が  
**2~3倍**

## 介護給付費 令和元年度 8億4千万円

■ 高森町の令和元年度介護認定の原因疾患 (全体)

1位	認知症	213人 (47.8%)
2位	筋骨格疾患	111人 (20.7%)
3位	脳血管疾患	78人 (14.6%)

■ 2号保険者 (40歳~64歳) の有病率

脳卒中	6件 (100%)
虚血性心疾患	3件 (50%)
腎不全	1件 (16.7%)

いずれも  
生活習慣改善で  
予防可能な疾患

### 【生活習慣病の早期発見で医療費の節約を】

高森町の国民健康保険の令和元年度の国保総医療費は約7.8億円でした。また、介護給付費は約8.4億円です。高森町の介護になる原因疾患は認知症や脳血管疾患が多く、いずれも高血圧や糖尿病などで血管が傷んだ結果引き起こされます。

特に医療費がかかる病気の中で、予防により医療費を抑えられる病気には脳血管疾患・虚血性心疾患・糖尿病性腎症など動脈硬化から起こる血管内皮障害が挙げられます。しかし、動脈硬化は急に起きるわけではなく、高血圧や糖尿病など生活習慣病のコントロール不良や放置から引き起こされます。介護給付でも特に若い年代2号保険者(40~64歳)の有病率は血管疾患が原因での発症が多いです。血管疾患の発症予防は介護予防の観点からも重要です。

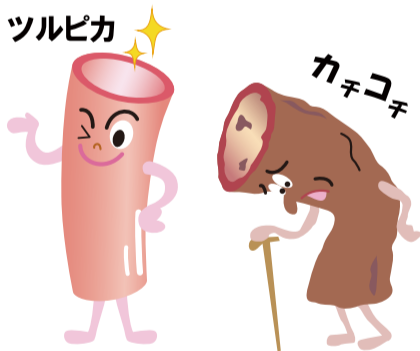
### 【医療のかかり方】

■ 受療率が高い方からの県内順位

	令和元年度			
	糖尿病	高血圧	脳血管	がん
入院	25位	34位	5位	33位
外来	14位	18位	17位	4位

令和元年度の入院・外来での受療率では、脳血管疾患が入院の上位を占めています。高額医療・長期入院の観点からも脳血管疾患が課題です。これは血管内皮が障害されることで引き起こされ、共通危険因子として、高血圧・高血糖・脂質異常などの基礎疾患の重なりが関係しています。基礎疾患の重なりが重症化を招くことから、コントロール不良を放置せず、確実に治療することが大切です。

新年のこの機会にもう1度健診結果を見直し、生活習慣の改善に役立てましょう!! お忙しい中受けられた健診を受けて終わりにせず、将来の健康に活かしていただけるように保健師・栄養士がお手伝いしています。生活習慣改善に取り組む中で分からない事があれば、いつでもご相談ください。



消防南部分署



☎62-9034  
火災・救急 119

なんでも

南部分署

謹んで新春のご祝詞を申し上げます

住民の皆さまには、清々しい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から阿蘇広域消防本部南部分署の消防業務に對しまして多大なるご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

現在は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、感染防止対策を講じながら、住民の方々は不安な日々を送られていることと存じます。職員一同、感染対策を講じ、災害現場にて活動を行っているところです。

さて、昨年を振り返りますと熊本県南で大雨の自然災害などによる災害がありました。高森町は幸いにも小規模の被害のみでした。

本年も災害のないことを望むとともに、地域住民、皆さまの安全安心のために、南部分署職員が心を一つにし、これまでに以上に職務に邁進して行く所存でありますので、今後とも皆さま方のご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

終わりに本年が皆さま方の更なる飛躍の年になることを心からお祈り申し上げ新年のあいさついたします。

阿蘇広域行政事務組合消防本部  
南部分署長 野尻 計介

### 令和2年中南部分署管内火災・救急出場件数

令和2年中の南部分署管内における火災・救急件数をお伝え致します。

● 南阿蘇村

火災……………9件  
救急……………435件

● 高森町

火災……………4件  
救急……………215件

(令和2年10月31日現在)

